

令和3年度 南区特色ある区づくり予算(区役所企画事業)委員提案一覧

資料2-1

| 番号 | 事業名 | 提案委員名 | 担当 (担当部会) | 事業概要 | 対応 【実施する】【他の事業で実施する】【実施しない】 |
|----|---------------------|-------|------------------------|---|--|
| 1 | 文化資源魅力UP事業 | 町屋 参吉 | 産業振興課 第3部会 | <p>【目的】 毎年行われていた行事がコロナ禍で中止となる中で、行事を再認識するきっかけをつくり、また、巡回バスを利用して利便性を 知るきっかけとする。</p> <p>【内容】 公共施設などの広い駐車場を利用して、大型トラックに載せた大型スクリーンを利用して、「白根大凧合戦」や「長岡花火」のよ うな地域のイベントを映す。観覧は車に乗車したままとし、車1台あたりの協力金をいただく。また、飲食店などの店舗に協力を得 て、巡回バスの1日乗車券に飲食店などのチケットを付けて購入してもらい、イベントを開催した際に飲食や買い物をするきっ かけとしてもらう。</p> | <p>【他の事業で実施する】</p> <p>朱鷺メッセで7月23日～8月30日に駐車50台として 実施した際の経費が1000万円程度。市内のイベント業 者に確認したところ、仮に1～2日間の実施としても700 万円くらいかかるのではないかと、とのことで費用対効果 の面から、難しいと考える。 例年凧合戦期間中の土日、インターネットで合戦の様 様を映像配信しているが、その映像を大型テレビを通し てパブリックビューイングのようにして提供することを検 討する。</p> |
| 2 | 南区ブランド継承プロジェクト(果樹編) | 田中 容子 | 産業振興課 第3部会 | <p>【目的】 南区のブランドを築いてきた果樹を高齢化や後継者不足から守る。</p> <p>【内容】 高齢化や後継者不足に伴い、南区の果樹ブランドが危機的状況になる前に、仕事を定年退職した農業に興味のある人や学校 で農業を勉強している人に技術を継承する取り組みを行う。</p> | <p>【実施する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年1月にJA、県、南区農業公社などをメンバー にした「南区果樹担い手協議会」を設立した。 減少傾向にある果樹の担い手や樹園地を食い止める ため、従前より検討を行ってきており、令和3年度からの 新規区づくり事業としての企画提案を予定していた。 区づくり予算を活用して、ご提案の趣旨に沿う具体的 な方策を実践する。 |
| 3 | 地域の茶の間 コーディネーターの設置 | 田中 容子 | 健康福祉課 第2部会 | <p>【目的】 地域の茶の間を開催する時や、事業報告などの煩雑な事務作業を代行する。</p> <p>【内容】 地域の茶の間に関わる人は高齢者が多く、煩雑な手続きにより開設できずにいると思われる。地域の茶の間の事務委託をして いる社会福祉協議会などと協力をし、事務手続きを代行する人を配置するなどすることで新規開設につなげてもらう。</p> | <p>【実施しない】</p> <p>新潟市では様々な事業に対して補助金による助成を 行っており、利用者の負担も考慮して関係書類の様式を 定めるなどの事務手続きの簡素化を図っている。しかし ながら、必要以上の簡素化は公正性の確保を困難とす ることから、現状、一定程度の事務負担をお願いしてい る。 地域の茶の間に対する助成手続きにおいても同様で あり、その対策として受付窓口となる社協(月1・2回開催 茶の間)や区の健康福祉課(週1回以上開催茶の間)で は、申請書類の記入方法や実績報告書等の作成手順 についての説明を随時行っている。そのほか社協では、 例年2月下旬に説明会を開催しており、区全体で可能な 限りの支援を行っている。 今後、こうした支援の取り組みを今まで以上に広く周知 することで、事務手続きに対する不安感の払拭に努めて いく。</p> |
| 4 | 観光看板等の設置 | 大那 孝 | 地域総務課 産業振興課 第3部会 | <p>【目的】 南区観光の起爆剤となるような観光案内看板を設置する。</p> <p>【内容】 南区白根古川出身の田沢与一郎・実入親子は信濃川治水論を唱え、中ノ口川と信濃川の洪水を守るため、まもなく通水100周 年という節目の年にあたる大河津分水建設に大きく関わった人物である。田沢親子の偉業を知っていただくための看板を設置し、 南区観光の発展の一助とする。</p> | <p>【他の事業で実施する】</p> <p>田沢親子の地域への貢献・功績は偉大なものがあり、 後世に語り継ぐべき偉人であると認識している。 その功績はしろね大凧と歴史の館や信濃川大河津資 料館においても展示・紹介されている。 一方で、その知名度は高いとは言えず、現段階 で観光素材としては弱いと考える。 地域の宝を区内外の人からより知っていただくため、 区だよりの他SNS等を活用し、親子の実績としろね大凧 と歴史の館での展示内容を広く紹介していく。</p> |